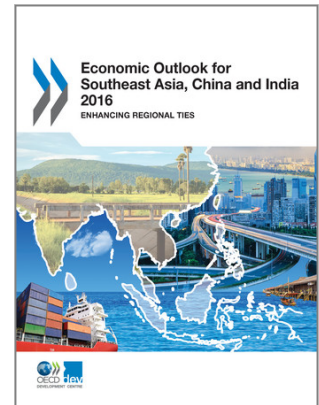


# OECD *Multilingual Summaries* Economic Outlook for Southeast Asia, China and India 2016 Enhancing Regional Ties

Summary in Japanese



全文を読む: [10.1787/saeo-2016-en](http://10.1787/saeo-2016-en)

## エコノミック・アウトルック - 東南アジア、中国、インド 2016 年版 地域の連携強化

日本語要約

2016 年版の「エコノミック・アウトルック - 東南アジア、中国、インド」は、3 分野に焦点を当てている。第一章では 2020 年までの同地域の経済見通し、第二章から五章までは地域統合の見通しと課題を取り上げ、そして第六章で同地域の構造政策の見通しについて、国別に詳細な分析を行っている。

### 2015 年から 2020 年の経済見通し

新興アジア諸国 ( ASEAN 加盟 10 か国および中国とインド ) の実質国内総生産 ( GDP ) の伸び率は、2015 年には緩やかに減速して 6.5% になり、中期的には ( 2016 ~ 20 年 ) 6.2% にまで落ち込むとみられている。全体的な成長に最も大きく寄与するのは個人消費だが、輸出の寄与度は以前ほど小さくなる。

成長の速度の変化は、すべての国と地域で同じではない。中期的には、中国は年平均成長率が 6.0% に鈍化する方向に向かうのに対して、インドの年成長率は 7.3% に達し、この地域で最も高くなるだろう。

ASEAN 加盟 10 か国では、年成長率は 2015 年は横ばいで平均 4.6% になり、その後中期的には 5.2% まで上がるとみられている。ASEAN5 か国のうち、フィリピンとベトナムはマクロ経済指標の改善とインフラ計画のおかげで最も強い成長を示す。カンボジア、ラオス、ミャンマーは中期的な年成長率が 7.3% から 8.3% 程度で、最も強い成長を見せる国になるだろう。カンボジアとラオスでは、農業の回復と観光業の拡大、工業生産の増加が経済成長を後押しするのに対して、ミャンマーは投資の増加と経済改革の恩恵を受ける。

### 成長を脅かすリスク

成長を妨げるリスクとなる主なものは、中国の成長の鈍化である。これは需要ショックとなる恐れがあるが、その潜在的な影響は様々である。中国向け輸出の減少は、マレーシア、シンガポール、タイに最も大きな影響を及ぼし、中国向け投資の減少はマレーシアとタイにとって懸念材料となり得る。後者はまた中国人観光客の減少にも苦慮することになる。

その他のリスク要因としては、米国の金利上昇がある。これは新興アジア諸国の短期金利に圧力を加える可能性がある。しかし、これが懸念材料の一つとなることもあるかもしれないが、その影響はほとんどないだろう。また、ほとんどの新興アジア諸国で世界金融危機以来生産性の伸びが鈍化していることもリスク要因として挙げられるが、この傾向は反転させる必要がある。

### 地域統合：見通しと課題

新興アジア諸国の地域統合は東南アジア諸国主導で 1980 年代から進んでいる。ASEAN+3 ( ASEAN、日本、中国、韓国 )、ASEAN+6 ( ASEAN+3、インド、オーストラリア、ニュージーランド ) などのイニシアチブを含む、多くの地域統合の枠組みが現れた。特に 2015 年末までに ASEAN 経済共同体を発足させることが、大きな節目になるとみられる。

主要な政策分野ごとに地域統合の深化において、進歩しているところと課題が残されているところは様々である。政策分野は具体的には、財の貿易、サービス貿易、投資と資本市場の自由化、競争と消費者保護、知的財産、インフラと接続性、中小企業、食品と農業および林業、観光業、人材開発と社会開発、ASEAN 統合イニシアチブ(IAI)などがある。

地域の連携を強化することは、グローバル環境の変化に対応する上で最良の戦略の一つである。しかし、進歩しているとはいえ、現在の努力は統合という目標を達成するのに不十分である。この地域の国々には、2015年までに、そしてそれ以降を見据えて単一経済市場を実現するためにさらなる努力を重ね、積極的な措置を講じることが求められている。

- ・ **協調性の強化**：既存の制度と地域の枠組みをもっと有効活用することができる。地域のイニシアチブと各国の思惑とを調整して重複を避け、すべてが同じ方向に向かうようにする努力が今以上に必要である。
- ・ **地域格差への取り組み**：カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナムなどいくつかの国々は特に開発に関わる課題を抱えている。地域内の発展格差が、一様の目標とアプローチを取る妨げとなっている。ASEANは次なるIAI計画を策定しているところで、地域内で発展が最も遅れている加盟国の統合を促進する方法を再考する重要な機会を手に入れている。
- ・ **ASEAN 非加盟国との協力強化**：ASEAN以外のパートナー諸国、特にASEAN+3と+6の枠組みに含まれる国々との協力は、特に金融安定化、貿易と投資の促進、環境及び災害リスク管理などの分野ですでに有益であることが証明されている。
- ・ **監視の改善**：統合に関する指標は、同地域では比較的未開発である。監視、評価、分析に先だって信頼できる指標が求められており、知識の共有を進めることができる。
- ・ **環境問題への意識の高まり**：この地域の非常に大きな経済的進歩は、環境を大幅に犠牲にして実現された。この地域が持つ大きな再生可能エネルギー源をもっと活用し、また地域協力を改善する必要がある。
- ・ **民間部門開発への取り組み**：海外直接投資の流入は増えているが、環境投資は特に製造部門において減少している。合併・買収は市場拡大の大きなチャンスとなるが、少数の限られた部門に集中している。国内企業、特に中小企業が「ASEAN企業」になる可能性を妨げる過度に狭い国内集中に対処する政策が必要とされている。

## 構造政策の見通し

構造政策における優先課題は国によって様々だが、多くの国々が、質の高い成長と生活の質の改善が必要とされるもっと社会に行き渡る持続可能な発展というニーズに明確に焦点を当てている。競争力の改善と経済活動の環境への影響を削減することもまた、多くの国にとって優先課題となっている。

取り組むべき問題としては、地域開発、社会プログラム、投資の促進、税制などが挙げられる。教育とインフラもまた、共通の懸念事項である。開発が遅れている国々は、成長のための基礎を提供し、問題となっている弱点に取り組むことを模索している。所得が相対的に高い国々は、将来的にもっと知識型の発展を実現できる状況を構築しようとしている。

© OECD

**本要約は OECD の公式翻訳ではありません。**

本要約の転載は、OECD の著作権と原書名を明記することを条件に許可されます。

**多言語版要約は、英語とフランス語で発表された OECD 出版物の抄録を 翻訳したものです。**

OECD オンラインブックショップから無料で入手できます。 [www.oecd.org/bookshop](http://www.oecd.org/bookshop)

お問い合わせは OECD 広報局 著作権・翻訳部 お願いいたします。 [rights@oecd.org](mailto:rights@oecd.org) fax: +33 (0)1 45 24 99 30.

OECD Rights and Translation unit (PAC)

2 rue André-Pascal, 75116

Paris, France

Visit our website [www.oecd.org/rights](http://www.oecd.org/rights)



### **OECD iLibrary で英語版全文を読む!**

© OECD (2015), *Economic Outlook for Southeast Asia, China and India 2016: Enhancing Regional Ties*, OECD Publishing.

doi: 10.1787/saeo-2016-en